

高商連ニュース

高知県商工団体連合会 NO.1161(57-13)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kosyoren.jp>

このニュースはホームページでもご覧になれます

被爆(終戦)80年県民のつどい

原水協と原水禁が共同で開催



下本節子さん



横山定子さん(左)、斎藤寿美子さん

日本政府の核兵器禁止条約批准などを求める「被爆(終戦)80年 県民のつどい」が8月30日、高知市の自由民権記念館で開かれました。県原水爆対策協議会(原水協)と原水爆禁止県民会議(原水禁)との共催で、約70人が参加しました。原水協と原水禁の共同開催は全国的には少なく、高知では昨年来3回目となります。

米国が太平洋マーシャル諸島ビキニ環礁周辺で行った水爆実験で父親が被爆(ひばく)し、ビキニ被爆船員訴訟の原告団長を務める下本節子さん(高知民商婦人部員)が講演。米ニューヨークで今年3月に開かれた核兵器禁止条約の第3回締約国会議に合わせたイベントで訴え、世界各地の核実験で被害を受けた人たちと交流したことなどを紹介し、「改めて被爆者に国境はないと思った」と話しました。

13歳の時に長崎市で被爆した斎藤寿美子さん=高知市=も登壇。原爆による重傷者であふれていた学校の講堂の凄惨な状況や、大病を繰り返してきた自身について話し、「原爆って怖い。原爆がない世の中にしてほしい」と訴えました。

横山定子さん=高知市=は、小学校の同級生の父親が広島で被爆し、命からがら高知に帰ってきたものの一週間後に吐血して亡くなったと聞いて大きなショックを受けた。90歳を過ぎたこれからも、「青い地球を守るために核兵器廃絶の運動を続けていきたい」と語りました。

「県原爆被爆者の会」を加えた3者による共同アピールを採択しました。

【共同アピール(抜粋)】

ビキニ水爆被災を契機に原水爆禁止運動が広がってから71年。その運動の原点には、水爆実験によって、高知のマクロ漁船が被ばくし、全国に先駆けて高知県知事を先頭に、水爆被害への対策を求める組織が立ち上がった高知の運動があります。「高知県原爆被爆者の会」も結成され、連帯して核兵器廃絶を訴え活動を続けてきた「原水爆禁止県民会議」[高知県原水爆対策協議会]は、被爆(終戦)80年の節目にあたって、共に核兵器廃絶のための「県民のつどい」を本日開催しました。

被爆80年を前にした昨年12月、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。凄惨な被爆の実相を、世界各地で訴え続け、戦争での核兵器使用を阻む最も大きな力となってきたことが評価されたものです。一方、核兵器使用の危険と「核抑止」への依存が強まるなど、「瀬戸際」とも言われる危機的な状況のなか、私たちの運動の役割はますます大きくなっています。

現在、戦争の名において核兵器が使用されようとしている状況のなか、原水爆禁止を求める被爆者を先頭とする市民運動と国際社会の大きなうねりも大きくなっています。核兵器の非人道性を訴えてきた被爆者や核実験被害者をはじめ世界の人びとが地道に積み重ねてきた成果として、核兵器禁止条約が発効(2021年1月)しました。

唯一の戦争被爆国である日本政府はいまだ核兵器禁止条約に署名・批准しようとはしません。私たちは、アメリカの「核の傘」から脱却し、日本がすみやかに核兵器禁止条約に署名・批准することを求め、核兵器廃絶のための活動に尽力することを宣言し、共同アピールとして発表します。

2025年8月30日

高知県原爆被爆者の会

原水爆禁止高知県民会議 高知県原水爆対策協議会

8月23日(土)に仁淀川民商と共済会の合同総会、翌24日(日)に須崎民商と共済会の合同総会、31日(日)に安芸民商と共済会と婦人部の合同総会が開催されました。

総会で選出された各代表

	民商会長	共済会理事長	婦人部長
安芸	川島 憲彦	大坪 奉巳	近藤 恵子
仁淀川	上岡 孝雄	渋谷 啓二	
須崎	高橋 旦	岡村 俊行	

仁淀川総会

8月23日(土)仁淀川民商事務所、第40回仁淀川民商定期総会・第30回共済会定期総会の合同総会を行いました。現在、仁淀川民商の会員数は54名です。総会への出欠の返信(委任)は、なんとか過半数を超えたので、総会は無事成立となりました。今年の総会への参加者は事務局含め7名でした。総会は議長の進行の

もと順調に進み、この1年間の活動や、今後の方針等を話し合いました。仁淀川民商では、この3年間で30人近くが退会しています。その主な要因は、病気や高齢による廃業です。同じ3年間で拡大は5人しかありませんでした。民商は会員の会費で運営しているもので、ここ数年は大きな赤字になっています。現在の仁淀川民商の状況を改善できなければ、会の維持・存続ができません。

ん。会の維持・存続のためにも、中小業者や個人事業主の地位向上や要求実現のためにも、今、会員拡大に取り組むことが大切です。今年の総会では、参加者が問題意識を持って、民商を維持するためにも、うしろたいいかを話し合うことが出来ました。まだ結論は出ていませんが、問題意識を持って取り組みうることを、励みにしました。

総会終了後は、事務所で料理や飲み物を準備して、懇親会を行いました。事務局員になって、事務所で懇親会をするのが初めてだったので、準備が少し大変でしたが、料理を作って持ってきてくれたり、デザートを構えてくれたりと豪華になりました。たくさん話をして楽しい懇親会でした。(9/1仁淀川民商より)



高商連共済会主催

マイントピア別子 バスツアー

9月28日(日)<日帰り>

マイントピア別子では温泉、砂金採り、鉱山観光、東洋のマチュピチュ巡りなどの自由行動。バーベキュー交流会も行います。

※参加費、出発時間等、詳細は各民商事務局に問い合わせください。